

選挙制度を通じて、 社会に貢献！

自治行政局選挙部選挙課選挙第三係長

荒居 陽子

ARAI Youko

平成21年 10月 総務省採用

自治行政局行政課総務室

平成22年 1月 自治行政局選挙部政治資金課収支公開室

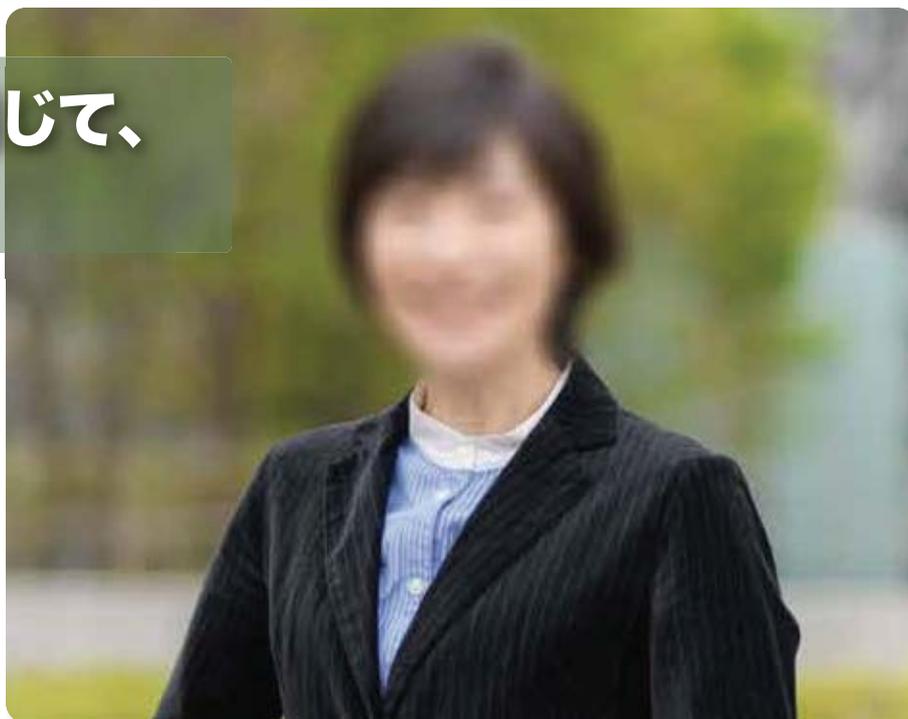
平成23年 10月 福岡県企画・地域振興部市町村支援課

平成25年 10月 地方公務員災害補償基金補償課

平成27年 4月 自治行政局選挙部選挙課

平成27年 10月 自治行政局選挙部選挙課主査

平成28年 4月 現職



Question & Answer

Q. 入省後、成長したと思うことは？

A. まだまだ未熟な私ですが、少しは成長したかな、と思うことは、積極的に物事を共有するようになったことです。これまで私は、どちらかと言うと1人で抱え込みやすいタイプだったのですが、何か問題が起きたときも、あまり悩みすぎず、周囲の方々に頼り、情報などを共有することで、問題解決への糸口がより早く見えてきます。「自分自身で考える」と「周りを頼る」ことのバランスが大事だと実感しています。

Q. 総務省の魅力はどのようなところ？

A. 総務省では、色々なフィールドで、たくさんのお会いがあります。私が向出した福岡県で知り合った方々とは今でも交流が続いており、本省では各自治体から総務省へ向出してくる方々と机を並べて仕事をし、時にはお酒を飲みながら、地域の話に花を咲かせます。皆さん各地域への熱い想いを持った方々ばかりで、一緒に仕事をすることは自分にとってとても刺激になりますし、楽しいものです。全国を通じた人との出会いは、総務省ならではの魅力だと思います。

■様々な改正で、よりよい選挙制度へ

選挙は、政治参加のために不可欠なシステムですが、最近、改正が多くなされています。例えば、これからの高齢社会を見据えた選挙権年齢の18歳への引下げ、投票価値の平等を目指した参議院選挙における選挙区の合区や衆議院の区割り改定、投票しやすい環境づくりのための、投票日に駅など便利な場所で投票できる「共通投票所」の制度化、国民審査の期日前投票期間の延長などです。これらの改正は、国民の皆さんが貴重な1票を投じて政治参加し、自分の意思を政治的に的確に反映させる社会を目指しなされたものです。最近の選挙制度改革を正確に理解し運用すること、さらによりよい投票環境を整備することで、少しでも選挙制度を通じた社会貢献ができていけるのかな、と思います。また、現行の選挙制度や選挙運動規制等について理解を深め、全国の選管や議員・候補者の方々等の疑問に答えることも重要な業務であり、責任重大ですが、同時にやりがいも感じています。

■全国のフィールドで、活躍のチャンス！

総務省では、やはり全国規模の仕事ができることが最大の特徴だと思います。特に昨年は、衆議院の解散・総選挙があり、総務省では比例代表選挙(全国11ブロック)の事務を担当しました。実際に解散されたときの慌しさは想像以上でした。私は、衆院選では主に選挙公報や選挙運動用ポスター・ビラの事前審査・受付の業務を担当しましたが、全国11ブロックごとに届け出た政党分のチェックをしなければならず、かつ間違いや漏れは許されません。責任は重大ですが、小選挙区担当の都道府県選管の協力も得て、選挙が無事に執行されたときの達成感は、何物にも代えがたいものでした。また、本省業務以外にも、若手の頃から地方自治体に出向し自治体職員として働く機会もあります。地方自治を考える上で、地方の現場を知ることは大事です。私も2年間、福岡県で県の仕事を勉強させていただき、またたくさんの人と知り合うことができ、とても貴重な経験になりました。



Private Life

土日には、自分の好きなことをしてリフレッシュしています。大好きな野球観戦や演劇鑑賞、美術館・博物館めぐり、寺社仏閣めぐりに行ったり、時にはきれいな景色を求め、カメラを携えて出かけたりもします。最近では、御朱印集めにもはまっています。週末に英気を養って、また来週もがんばろう!と思います。

